

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大久保中学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	・令和5年度全国学力・学習状況調査「知識・技能」において、全国平均正答率と自校の平均正答率の差の値が、国語、数学共に前年度調査を上まわる。 ・令和5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、市平均正答率と自校の平均正答率の差の値が、国語の「書くこと」、数学の「数と式」の項目で前年度調査を上まわる。	⇒ ・朝読書以外に、NIE、数学のモジュール等を年間を通して定期的に取り組む。 ・朝の「スタサブタイム」ICT等を活用し、基礎基本の定着に向けて繰り返し取り組む場を設定する。
思考・判断・表現	・令和5年度全国学力・学習状況調査「思考・判断・表現」において、全国平均正答率と自校の平均正答率の差の値が、国語、数学共に前年度調査を上まわる。 ・令和5年度さいたま市学習状況調査「思考・判断・表現」において、市平均正答率と自校の平均正答率の差の値が、国語の「書くこと」、数学の「数と式」の項目で前年度調査を上まわる。	⇒ ・「教師が教える授業」から「生徒が自ら学び考える授業」になるよう、「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を推進していく。 ・ICTの活用や生徒の活動の充実させ、主体的に学習に取り組む授業の場を設定していく。
主体的に学習に取り組む態度	・令和5年度全国学力・学習状況調査において、国語、数学に対して「主体的に学習に取り組む態度」に係る項目の全国平均肯定率と自校の平均肯定率の差の値が、前年度調査を上まわる。 ・令和5年度さいたま市学習状況調査において、「主体的に学習に取り組む態度」に係る項目の市平均肯定率と自校の平均肯定率の差の値が、前年度調査を上まわる。	⇒ ・ICT機器を活用し、可視化や、効率化等を図ることで「分かりやすい授業」を展開していく。 ・単元や本時の課題を明確にし、見通しをもたせ、自力解決する場を設定する。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	<p style="text-align: center;">調査結果分析(2月)</p> <p>①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等</p>	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	令和5年度全国学力・学習状況調査「知識・技能」において、全国平均正答率と自校の平均正答率の差の値が、国語、数学共に前年度調査を上まわることができなかった。領域で見ると、国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、数学では「数と式」が課題であった。
思考・判断・表現	令和5年度全国学力・学習状況調査「思考・判断・表現」において、全国平均正答率と自校の平均正答率の差の値が、前年度調査を国語は上まわったが、数学は上まわることができなかった。領域で見ると、国語では「書くこと」、数学では「データの活用」が課題であった。記述式の問題形式では、前年度を大きく上回っていた。
主体的に学習に取り組む態度	国語・数学・英語で学習したことが、将来に役に立つかの質問に肯定的に回答する生徒が、全国平均と同じだったが、家庭学習の取り組みは、全国平均を下回っていた。

④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし